

石教研専門部会第二次研究会 特別支援教育部会

アンケート集計結果

目次

0. 全体見解

1. [来年度に向けて](#)

2. [知的部門](#)

3. [自閉情緒部門](#)

4. [言語部門](#)

5. [肢体部門](#)

6. [研究・難聴に関わって](#)

全体見解

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度は選択肢や記述欄が多く、入力負担をおかけしました。それにもかかわらず、温かいご意見や励ましの言葉を数多くいただき、心より感謝しております。

今年度は、個々のアンケートについて詳しく説明するのではなく、全体的な傾向と今後の対策についてお伝えします。

■ 南北開催とリモート開催・駐車場問題について	
大多数の会員が、全員で1か所に集まるのは難しいと考えていました。リモートには課題もありますが、やむを得ないという意見が多く見られました。 さらに、会場を増やす方がよいという意見も多数ありました。	来年度は、リモート配信元の学校数を減らし、受信会場を増やす方向で考えています。全体会も各会場で実施する予定です。これによって、移動の時間も必要が無くなります。
■ 業務多忙化の解消について	
会員が締め切りを守る、C4thの個人メッセージを確認するなど、意識向上が必要だという意見が多くありました。 また、連絡システムの整理、業務の見直し、二次研究協議会のあり方についても、多くの意見が寄せられました。	石教研では、研究授業の実施と一日開催が必須のため、講演のみや半日開催は認められていません。また、連絡ツールも規定の範囲内での使用となります。その上で、できる限り業務を削減する方向で進めています。会員全体で意識を共有し、ご協力いただければ幸いです。
■ 知的・自閉情緒部門のリモートについて	
リモート会場の課題として、「接続が切れる」「音声が聞こえない」「見たい場面が見られない」「現地とリモート会場での事後研究会がうまく機能しない」の大きく4つが多く見られました	来年度は、ビデオ撮影も視野に入れ、カメラの台数を増やして教員や個々の児童を追います。二次研究協議会では複数のモニターに同時に映すことを考えています。また、それに伴い事後研究会のあり方も見直す予定です。
■ 部門別・課題別研修について	
司会が決まらず困ったグループがあったようです。また、人数が多すぎて話せない、少なすぎて時間が余るといった状況も見られました。人数の多いグループでは、1つの教室を2グループで使用したため、相手の声が気になることがあったようです。	二次研究協議会は、会員が協力して作り上げるものです。積極的に司会を引き受け、発言し、主体的に運営に参加してください。 また、欠席が多いと運営業務が増えるだけでなく、グループ編成にも支障が出ています。急な病気など、やむを得ない場合を除き、欠席は控えてください。運営方法や教室設定については、来年度に向けて改善していきます。

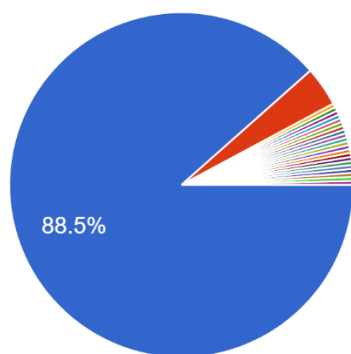
アンケートでは全体的に協力的なご意見を多数いただきました。一方で、運営側への負担が大きくなるようなご提案や、改善点のみを指摘するご意見も一部見られました。石教研は会員全員で作り上げていくものですので、それぞれができることを考え、前向きな改善案をお寄せいただけると幸いです。

特別支援教育部会役員会では、今年度の反省を踏まえ、来年度に向けてさらに改善を進めていきます。引き続きご協力をお願いいたします。

1. 来年度に向けてのアンケート

1 南北開催について、どうすべきだと思いますか。

- ①南北開催は妥当である。
- ②全員一か所に集まるべきだと思う。(ただし、一か所に集まるには人数が全員入る会場と駐車場が必要です)



- 南北開催は妥当である。
- 全員一か所に集まるべきだと思う。(...
- さらに南、中、北に分けたら移動は減...
- 授業公開は難しいかもしれませんが、...
- 特別支援部会を肢体、知的、言語、自...
- 無理しない、市町村単位でよいと思い...
- 部会が増えているのであれば、市町村...
- 知的と情緒を別会場で行う。

▲ 1/3 ▼

A 一箇所開催を望む意見

- 理想は一箇所。駐車場問題と教室で授業参観が難しい。
- 場所が難しいですが、一ヶ所が理想です。人数の多い知的と情緒の場所を分けて、部門別に一ヶ所で開催というのはいかがでしょうか。

B 分散・地域別開催の提案

- 1箇所ではなく、何ヶ所かに集まる。実際の授業校に。
- 1箇所は1箇所でも、北広島市・石狩市などのように、石狩管内の各都市で集合とする。
- 部会が増えているのであれば、市町村ごとの開催でも良いのでは。
- 部門ごとに別開催でもいいなあとおもいました。
- 分散開催 ○距離的にも南北に分けても距離がある。
- 特別支援部会を肢体、知的、言語、自閉情緒の4つの部会に分ける。
- 小中で分けてもよいと思います
- 南北それぞれの授業開催か、授業以外の新しい形での研修
- 知的と情緒を別会場で行う。
- さらに南、中、北に分けたら移動は減るかも？
- 無理しない、市町村単位でよいと思います。

C 南北開催への評価・継続意見

- 南北開催になってからまだ一巡もしていないので、もう少しやってみてからの検証が必要では。
- 南北開催でも負担感はあります。

D リモート開催・ICT活用

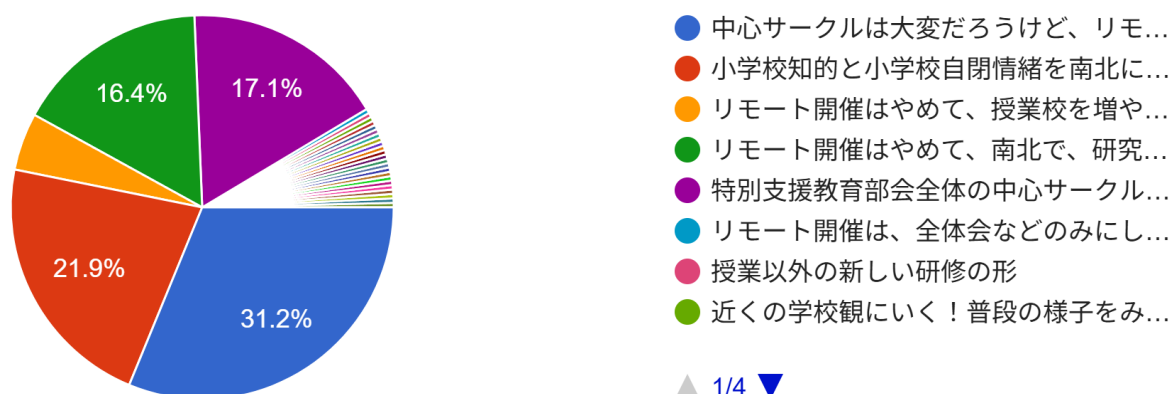
- 授業公開は難しいかもしれませんが、グループ協議やレポート交流はリモートで十分可能だと思います。
- 市町村または学校単位でのリモート開催を行う。

E その他・検討継続・意見保留

- まだ始まって数年なので、あと2年ほど様子をみてから再度検討してはどうか。
- 分かりません
- なかなか良案は思いつきませんが、この体制も限界があるように思います。

2 小学校知的・自閉情緒部門のリモート開催について、どうすべきだと思いますか。

- ①中心サークルは大変だろうけど、リモート開催を今年度同様続けて、研究授業は全員見るべきだと思う。
- ②小学校知的と小学校自閉情緒を南北に分け、中心サークルがある方の部門だけ研究授業を行い、中心サークルが無い方の部門は研修のみを行う。
- ③リモート開催はやめて、授業校を増やして、研究協議会に向けてサポートする人員を大きく増やし、全員会場で研究授業を見るべきだと思う。(ただし、現状では司会等の係を決めるのにも苦労しています。)
- ④リモート開催はやめて、南北で、研究授業を見る年と研修のみを行う年を交互に行う。(ただし、中心サークルが南北それぞれに必要)
- ⑤特別支援教育部会全体の中心サークル制をやめて、各地区の研究授業を抱き合わせで二次集会の日に設定し、全会員の参加したいところに行くことで、年間の研究授業数を減らし、人数を分散する。(ただし、会場運営は各会場で行う必要があり、運営のサポートする人員をたくさん募る必要がある。)



- 全て研修のみのリモート開催
- リモートじゃなくて録画を見て事後研をする、という形でもよいと考えます。理由は、リモートでも子どもの様子が見にくかったり、授業者に聞かないとわからないところがあったりするので、録画でも変わらないと思いました。
- 授業を一本化し、参観はリモートとする。 ○ 授業は一本化して、動画視聴する。
- リモート開催は、全体会などのみにし、研究授業は、各地区での授業をビデオでのダイジェスト版にし、指導案とビデオで事後研を行う。
- リモート開催ではなく、録画で2次研までに見ておいてもらう
- 授業の数を減らす。例えば知は一本など。リモートではなく、録画したものを参観する。授業公開も隔年で良いかと思う。
- 部門別に会場を分けて、一ヶ所開催はいかがでしょう。
- 各部門ごとで集まる会場を変える。特別支援というくくりではなく、それぞれ独立させる。
- 現在、小学校では、知的部門で2つの授業校があるので、中心サークルを南北どちらにも一校ずつあれば、リモートで繋ぐ必要はないのではと思います。
- 小・中に分かれる

- 知的、情緒の人数は、減らないだろうから、地区の2次集会と抱き合わせで良いと思うが、言語と肢体は、全体で集まらないと交流ができないので、分けて考えるのも必要かと思います。
- 各地区で実施する。 ○ 近くの学校観にいく！普段の様子をみにいく
- 授業公開も大切ですが、講演会や実技研修、日々の努力や苦労を交流して、授業に生かせるようにしてはどうかと考えます。
- 各地区でも研究授業が行われているので、研修のみでよい
- 研修会はどうでしょう？
- 授業以外の新しい研修の形○リモートで参加された皆さんの声におまかせします
- 役員さんの負担が少なくなるようにできたらいいのかなと思います。
- ごめんなさい、これは正直悩みます。(同様他2)

3 全大会の会場の駐車場が足りなくなることに、どうすべきだと思いますか。(複数選択可)

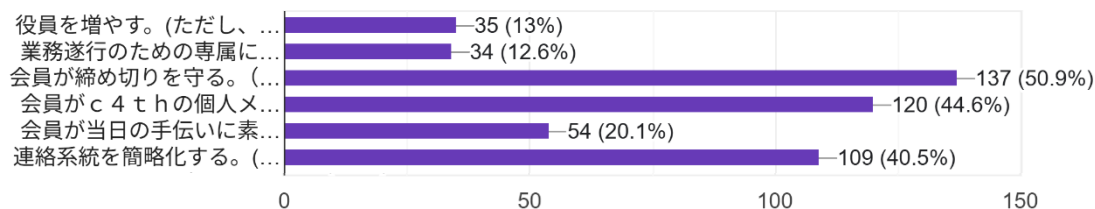
- ①中学校(100名程度)と言語肢体(60名程度)の2つの会場を南北に分けて交代制にする。(若干の混雑の解消)
- ②全大会で全員集まるのを諦めて、それぞれの会場で動画視聴をする。
- ③今年度同様商業施設の駐車場を借りる。



- 言語肢体部門が、南北に分かれての研修でも運営上困らないのであれば、中学校、言語肢体部門の南北分かれての開催が良いと考えます。
- 市町村単位で集まる。 ○ 各地区で実施する。
- 担当の方の負担が大きすぎるので、二次研自体を全て自分の学校でリモートでは難しいのでしょうか？
- 授業を一本化し、参観はリモートとすれば解消するのでは。
- 市町村または学校単位でのリモート開催を行う。 ○ 全体会は、リモート開催にする。
- 午後のレポート交流の教室からテレビ放送または音声放送での開催はいかがですか。
- 乗り合わせ×3

4 二次研究協議会に関わる役員の業務多忙を解消するために、どうすべきだと思いますか。(複数回答可)

- ①役員を増やす。(ただし、毎年なかなか決まりません)
- ②業務遂行のための専属になれる人が役員をする。(余裕のある学校があれば)
- ③会員が締め切りを守る。(400名以上の締め切り厳守は非常に助かります。)
- ④会員がc 4 t hの個人メッセージを毎日確認する。(400名以上の確認は非常に助かります。)
- ⑤会員が当日の手伝いに素早く立候補する。(「誰もいなければ」のギリギリではなく、1回の呼びかけで決まるとその後の作業が非常に助かります。)
- ⑥連絡系統を簡略化する。(現状では、学校責任者→各市町村推進委員 or 部門代表→役員)



- 業務内容を減らす×4
- 授業公開などをやめて、研修に置き換えることで業務量がへる
- 研究協議会自体の簡略化をはかる。
- 慣例的に行っているのか、本当に必要なことなのかの業務の調整

B 組織体制の見直し

- 各校で役員を増やす（～人程度）と連携がうまく行くのでは。
- 1校の所属人数を制限する。（特別支援教育部会所属は1校につき2名までなど）
- 人数が多すぎるので、分割してせめて100人以内の組織に編成し直す。
- 会員数が減ると楽になりますか？通常担任は教科へ行ってもらう、特支担任でも教科へ行ってもよいことにするなど。
- 会員希望登録制にして、やる気のない人は無理してやらない

C 運営・分担方法の工夫

- 司会や駐車場や受付、記録などを決めるのは学校に割り振りすればよい。みんなできると思うし、手を挙げてもいいが、出しゃばり過ぎだと思われるかもしれないし、他の学校の様子がわかるのは事務局なので会員数によって割り振ったらよいと思う。去年は、ここだったというのも一般の我々にはわからない。
- よくわからないで発言します。教育研究所の人は、できないのですか？我々の出欠を厳しく管理しているの。

D 情報共有・ICT活用

- ワークスペースがあるので、うまく活用し、C4thの連絡を最小限にする。
- Google ワークスペースを確実に各自で確認すること。
- C4thで全員に送信すればよいのでは

E 会の在り方・研修内容への提案

- 指導案を作らないで、ほかの学校をみにいく！または、有名な特別支援学級の授業配信をみんなで見て、検討する。石狩でやっているだけなので、毎回同じような授業、型にはまった授業でつまらない。
- 1日かけてする必要がないです。午後開催で、1年目授業公開、2年目レポート交流、3年目研修（講師招聘）

5 来年度以降の研究協議会の運営について、その他ご意見ご要望などありましたらお願いします。

A 運営・働き方改革・負担軽減に関する意見

- 大幅に削っていく方向を思い切ってやってください、誰も反対しません。今働き方改革が、叫ばれてる時にやらないと、進まないですよー
- 人数多くて大変なので、簡素化したら良いと思います

- 役員の負担ができるだけ減るように、運営方法を簡素化できたらいいと思う。
- もっと、内容を見直し簡素化する。 ○ スリム化を進めたい。
- 今年度までの運営をやめて、削減したほうがよいと思います。
- 各学校でそもそも教員が不足している現状や担任を担える人材不足は深刻な課題となっています。また、そうした熱意のある人々が役員を担っている現状もあると思います。働き方改革も謳われている中で、ICTを活用したり、半日開催にするなどの工夫を図ることで少しずつ負担を減らしていくことができると思います。
- 運営体制の簡略化ができないものでしょうか。規模縮小、部門別、地区別開催など
- 私自身もかつて研究員を担ったことがあります。この規模の研究をまとめるのは本当に大変なことだと思います。駐車スペースを含めて実施できる会場校も限られていると思います。1日開催や南北実施にこだわらずに内容を密にして半日開催および一部リモートによる討議など行なっていくのもよいかと思います。
- 続けるのであれば、今年度並みでいいかと。研究授業はどちらかがリモート参加で中心サークルの負担を減らす方向で良いと思います。授業校はなるべく少なくで。
- 課題別部会も司会者は配置しておいたほうが良いと思います。
- 今年度のように分科会の司会をあらかじめ決めず本部の負担を減らして欲しいです。
- かなり簡易化しても良いと思います。先生方に協力してもらってその場でグループ決めるとか、事務局の負担も下げるような努力をして、多少いすさがあっても構わないというおさえにしないと、大変すぎるかなと思います。できればやりたくないという事務局にならないようになってほしい。
- 石教研の役員があり、その下に部門の役員があり…やれる人(能力のある人)にいつも負担がかかるのが、本当に申し訳ないと感じます。新人であろうが、未経験の大ベテランであろうができるような業務内容でないと、一部の人がばかりが何回も苦勞をして、他の人は逃げてばかりで終わっていくというのが不公平感が強いと感じます。だからと言って、部門の選考委員や部門の研究員をやったから、代表や三役から外して欲しいというのも業務内容的に言えば不公平と感じます。家庭の事情や学校内での仕事の割り当てなどで、それぞれに事情があるのは当たり前なので(全員に当てはまるので)全員同じ条件のもと、役員選考ができたと思います。前提は、誰でもできるくらいの業務内容ということで。業務削減を進めていけたらと思います。
- 役員を経験して、日常の業務＋石教研の業務は本当に多忙すぎます。本当に役員の先生方お疲れ様です。部内での検討も大事だが、石教研に部員過多で運営が難しいことを訴えて、石教研として部会体制について考えてもらう必要があると思います。小中連携は、市町村の研究の場でもできるので、小と中を分けた部会にすることもできるかなと思います。また、臨休にして研修を行いこと自体、見直す時期ではないかと思います。各市町村でも研究授業は行っていますし、時数が足りないと言われている中、臨休にしてまで、管内の先生方がわざわざ集まる意義が感じられません。

B リモート開催・会場・運営方法に関する意見

- 授業はやはり、足を運んで見たいと思いました。
- 生の授業を見れば本日はいいと思いますが、規模が大きいのでこの方法が望ましいのかと思います。
- ミートだと繋がらなかったり大変だからやめた方がよい
- 撮影不可の児童がいると、リモート撮影が難しい。今回は1人だけだったが、複数いると、その子の撮影を避けつつリモートするのは無理だと思う。
- 配信をやめて、小・中に分かれて参集型にしてはどうでしょうか。
- 移動を考えるとリモート開催は前提にしていきたいと思います。子どもたちや会場校の負担を考えると授業公開も録画を検討してはいかがでしょう、とよく職場で話題になっています。
- 昼の移動、昼食時間をもう少し長くするのは可能ですか？

- 刺激に弱い児童もいるので、特支の研究授業は、全てオンラインにした方が、児童の配慮の上でも大切だと思いました。
- 場所を問わず、すべてオンライン開催希望
- 会場校の負担軽減、移動時間の短縮、旅費の節約などの観点から、勤務校でのリモート開催をお願いしたい。どうしても集まるのならば、市町村ごとに集まるのではどうでしょう。コロナ禍に学んだノウハウを活かす時だと思います。
- 沢山の学校で授業を行なっていただきありがたいが、中心サークルの負担が大きいのではないかな？授業校を減らし、開催ブロックであっても、授業形態、内容によっては一部リモート配信での授業参観でも良いと思う。
- 小学校は南北に分かれています、中学校は南北に分かれていないため、朝の移動が大変です。せめて真ん中地点での開催希望です。
- 人数が多すぎるので、地区をもう少し細かく設定するのもありかもしれません。
- 全体の人数が多いので南北から更に分散しはどうか？移動と食事の時間が足りない。
- 二次研究協議会も半日開催で良いのではないかな？
- 日々の業務、大変ご苦労様です。2.の質問に対して補足ですが、中心サークルのある地区が参観に行き、中心サークルのない地区は研修（講演会など）がよいのかなと思います。でも、全体会はリモートでつなぎ、南北それぞれの研修内容の発表&交流をして、管内研究の意義を持たせるという形は、ありでしょうか。
- 大所帯になったのでお知らせの徹底など難しくなっていることを考えると、大きなホールで講演会形式にめるのはどうでしょう。授業実践は各地域で研修する。役員さんの負担が大きすぎますので、減らす方向で方向転換が必要だとも思います。

<部門別・課題別について>

- 部門別の方の時間を増やして、課題別の方は減らしていいのかなと思いました。
- 来年は部門別や課題別よりも講演会などしたらいいです
- 課題別研修の時間が長く、間延びしてしまいました。先ほども書きましたが、昼の移動時間を長くするのは いかがでしょうか。
- 課題別研修の中に「評価」があれば…。あゆみや指導計画などを持ち寄って、他校の先生と交流したいと思いました。が、これは、他の夏休みの研修などの機会でも構いません。
- 発音の不明瞭な子が複数いるのですが、そのような課題に対して意見交流できる場がどこかにあれば嬉しいです。

（←見解：言語部門に参加されてはいかがでしょう。）
- 発達通級部門を作ることは難しいでしょうか？

（←見解：部門を増やすには、部門代表・研究員など役員を増やすことになるため、なかなか難しいです。人数が多いようでしたら、また次年度何かしらの方法を考えますので、声を上げ続けていただければと思います。）

C 感謝・労い・協力の意見

- 運営の先生方お世話になりました。ありがとうございました
- 役員の方、授業をしてくださった方々ありがとうございました！
- 大所帯の運営大変だったと思います。ありがとうございました。
- いつもありがとうございます。運営については、みんなでできることを考えていきたいと思います。

- お疲れ様でした。×4
- お疲れ様です。手伝える範囲で協力します。
- 今年度もたくさんの業務をありがとうございます。感謝します。会場校でしたが、役員の方たちの大変さを見てみると、もっと役割分担をしたり、簡素化したり時代の流れに合わせた方法がいいのではないかと思います。
- 役員の先生たち、おつかれさまでした。どのようにすればよいか具体的な案はないのですが、中心サークルの負担感、役員の先生の負担感、など負担感の少ない形が見つかれば良いなと思います。
- 役員の皆様、大変お疲れ様です。南北開催は非常に手間がかかるものです。日々の業務推進に心から敬意を表します。この方法を決定したころの協議を思い起こせば、400名を超える人数を収容できる規模の学校はほとんどなく、南北に分ける方法を模索せざるを得ない状況でした（石教研事務局から南北開催について打診されたのが発端です。障教部からの発信ではありませんでしたが、開催場所の関係で、部会内でも行き詰まりが見えていた頃ではありました。）。さらに当時を起こい起こせば、南と北でリモートにより授業を見あうことは授業の臨場感、児童生徒や教員の表情や動きなどが良く読み取れず、またプライバシーの問題、役員の負担、機材の不安定さや突然の不具合に対する信頼性の低さなど様々な問題があり、部会内では「現実的な方法ではない」との意見でした。そのため、南北開催を行うのであれば南の中心サークル、北の中心サークルの輪番を作り、南北それぞれの地区で研究授業を行う、あるいはこのアンケートにあるように、隔年で中心サークルの地区だけが研究授業を行い、研究授業を行わない地区は講演会などの研修を実施するといった案を作成し、石教研事務局に提案いたしました。しかし、石教研事務局からの回答は「二次研究協議会では研究授業を行うこと、そして、石教研はひとつ…との理念から、全会員（障教部の場合は部門に相当）が同じ授業を見て研究協議するものである。」との理由から「南と北で別々の授業を見て、研究協議することは許されない。地区ごとの研究は各地区に設置されている江教研や広教研などの組織が担うものである。また講演会などの開催は共有研究の実施でカバーできるので、そういった研修が常態化することは望ましくない。」との見解で、障教部からの提案は否定されました。当時、コロナウィルスに関連し、ちょうどGIGA構想など学校が大きくICT活用に進もうとしていたこともあり、リモートによる方法が検討されたのでした。リモート開催も数年が経ち、部員の入れ替わりが激しい（昔はそんなことはなかったのですがね…。私も障教一筋でやってきてますから。）障教部ではこのような経緯が十分に継承されず、風化されつつあるのだろうと感じます。非常に残念ですね。だいたい司会や記録でさえさっさと決まらないなど、言語道断です。当日の欠席も多いですし（昔は障教部の出席率が石教研の中で常にトップだったのに。）ね。障教部に入るのなら（名前変わりましたが）もう少し気合いを入れて入ってこい！って言いたいものですね。いずれにしても、石教研事務局とのすり合わせは必要になってくると思います。石教研事務局もその時々で様々な見解があるのしょうから、今の時流に合った方法を協議していくことはできるのだろと思います。現役員の皆様には、趣旨をご理解いただいて、十分に（それ以上に）推進していただいていると感じております。本当にありがとうございます。

D 連絡・情報共有に関する意見

- 昨年度、今年度と部門連絡員をさせていただきました。正直なところ、連絡員を通す連絡と、推進委員を通しての連絡と、googleworkspeceに直接アップされる連絡とで、ごちゃごちゃだった印象です。連絡系統の一本化はとても大切だと思います。

◆確認したい事項

- ① 連絡事項は必ず「連絡員」と「推進委員」に同時に送る。学校代表に送るのは連絡員のみ。※これはできていたのかな？と思っています。

- ② googleworkspece には連絡は載せずにデータのみ。※連絡がここに載ると見落としがあります。今回も学校代表が C4th のメールは確認しましたが googleworkspece の連絡を見落とししていました。
- ③ googleworkspece への登録忘れがたくさんあり、連絡員への問い合わせが多くありました。登録期限は設けますが、忘れていてもいつでも登録できるようになっているとありがたいです。※もちろん忘れないように各学校で声掛けしていただくことが前提です。
- ④ 部門代表の先生方が多忙な中で仕事をされているため、名簿等の記載ミスが多くありました。名簿作成は部門代表ではなく、担当を設けてはいかがでしょうか。部門代表の仕事が多すぎると思います。

E 今後の方向性・前向きな意見

- 様々な状況を考えて、良き方向性を見つけて下さろうとしていただいている事自体、ありがたいです。反面出席率はいかがなのでしょう。事情はあるでしょうけど、多くの方がちゃんと出席して、私たち何かを得て研修を終えられる事が役員の方への礼儀ではないかと考えます。(出席率高かったらすみません)役員になった方だけの負担にならない運営になるように、自分もできることを頑張ります。
- 人数が多すぎて、運営が難しいことを何とかできるように、画期的な改革が必要かと思います。とはいえ、具体的なアイデアが思いつかないので、来年度役員の皆さんと一生懸命考えます。
- いつもありがとうございます。支援部会は入れ代わりが多く毎年初めての方も多いため、なかなか周知しても完全にやることは難しいです。今もそうですが、8割くらいの方が概ね良いんじゃないかというところを目指していけば良いと思います。完全に完璧にやることは考えず、各学校任せにすることもいたしかたないと思うます。完璧にやろうとしすぎると、それも負担になりますし、失敗が許されないイメージがつくと、役員を引き受けるハードルが上がるので。運営側に感謝をもって、会員が寛容な気持ちで協力する体制を目指したいです。
- 今年度同様の取り組みを維持していくことを期待します
- 今年度同様に実施できるとよいと思います。

6 その他石教研特別支援教育部会に対してご意見ご要望などありましたら、こちらでお願いします。

A 感謝・労いの言葉

- いつも運営ありがとうございます。また、運営に関して、ここまで具体的に問題提起をしてくださり、改めて大変さを知る機会となったことと思います。会員のニーズを踏まえながら、負担感が少なく、有意義な機会となるよう、石教研の本部とも協議を進めていけるとよいと思います。今年度も大変お疲れ様でした。
- 運営に関わった先生方、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。毎年、専門部会二次研で研修したことはとても有意義で、支援学級や校内の実践に取り入れさせています。
- 役員の方には、学校での業務がある中、大勢の石教研部員をまとめるために、色々していただいて、本当にありがとうございます。
- 日々の業務の大変ななか、ありがとうございました。
- 年々大規模化する特別支援教育部会の運営、お疲れ様です。
- 役員をつとめてくださった先生方、ありがとうございます。
- 準備が本当に大変だったと思います。本当にありがとうございました。
- いつもお忙しい中、ご対応ありがとうございます
- 大所帯の部会を運営していただき、ありがとうございます。
- 特にありません。運営等お忙しい中、本当にありがとうございます。

- いつもありがとうございます
- 役員のみなさん大変な中ありがとうございます！
- 役員の皆さん、ありがとうございます。
- 運営 お疲れ様でした。ありがとうございました。
- お疲れ様でした。×3
- ありがとうございました。×3
- 大変な運営お疲れ様でした。とても有意義な1日でした。ありがとうございます。
- 特にありません。
- 役員の先生方、お疲れ様でした。×2
- 良い研究会になりました。本当にありがとうございました。
- 誠にお疲れ様です。いつもありがとうございます。
- 毎年大変お疲れ様です。
- 大変な業務を担ってくださり、本当にありがとうございます。
- 人数の多い部門の運営は大変だと思います。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

B 運営体制・負担軽減に関する意見

- 会員数が多いことで役員さんの負担が増している印象を受けます。どんな形がいいか分かりませんが何らかの再編は必要だと思います。
- 仕事が多忙の中、誰もが気軽に仕事を引き受けられるようにしてほしい。

C 研修・交流・部門に関する提案

- 今回の2次研も、色々な先生と交流できて、とても良かったです。
- 初めて参加しましたが、大変勉強になりました。
- どこの学校も忙しく大変なことは明らかで、手が回っていないのが現状なことが分かりました。だからこそ交流は不可欠で、全員での協力が必要だと思いました。

2. 知的部門アンケート

1 午前中の研究授業について、いかがでしたか。

- ① 有意義だった 73%（北のみ 59%）
- ② おおむね有意義だった 25%（北のみ 38% 全体に対する北割合 73%）
- ③ あまり有意義ではなかった 2%
- ④ 有意義ではなかった 0%

2 研究授業の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

A オンライン参観の見えづらさ・聞こえづらさ

- ミートで繋ぎ、画面越しで授業を見るのは難しかったのではと思います。
- リモートだと、自分の見たい場面がみられない。そして、周りの音声が同じくらいのボリュームで入ってくるので、何を言ってるのか聞き取れない。通信のトラブルで時々見られなくなる。…ということがあるので、なるべく直に授業を見たいなと思います。北広島まで、時間までに行くので、直接授業を見せていただきたかった、と思いました。
- やはり、授業は、見たい。
- オンラインでの授業参加は、流れはわかっても、子ども達の細かな様子や、先生方の声かけなどがよくわからないのが残念です。
- リモートで授業を見てると、何をやってるのか、言ってるのか、全然わからなくて、話し合いの感想が皆さんそこから始まりました。わからないので、いろいろ疑問があったんですけど、一方で見ている側は私たちが疑問に思ったこと全てわかってたので、こんなに格差があるんだと思いました。検討の時間に質問を考えたり、話しあったりしたことがひっくりかえった感じで、時間としては少し無駄になった部分が多くありました。
- リモートだと見にくい部分が多いのかなと感じました。
- meet で見ていましたが、子供の活動の様子や声が聞き取りにくかったです。
- 機材の問題などで仕方ないとは思いますが、子どもたちの声や先生方の声が聞き取りにくかったのが少し残念でした。
- リモートでの授業参観は、やはり子どもの声や姿が分かりにくいのと、先生方の指導、支援の工夫も見取りにくく、難しさを感じました。
- オンラインでの授業だと、北と南と一斉にできる面はあるが、子ども達のつぶやきや反応が少し分かりづらい面はある。
- オンライン試聴だと、音声が聞きづらい場面がありました。機械に詳しくないのですが、改善できるならお願いします。
- オンライン通信の不具合なのか、途中、何度か切れてしまう場面があった。安定した環境での授業公開、事後研をどう設定するか、難しいところではあるが対応していく必要があると思います。
- リモートの授業参観は難しいです。教師の指示も子どもの会話も聞き取れないことが多く、事後研は質問ばかりになってしまいました。リモートは回線などで途切れてしまうこともあるので、ビデオ録画の方がいいと思います。録画だと、子どもたちもこの日に登校しなくてもいいので負担は少ないと思います。
- オンライン授業は、ほとんど話している言葉が聞こえない。MT の発問や ST の声掛けなども聞こえるように、例えば授業者にはマイクをつけてもらうなどの工夫が必要だと思う。

B 直接参観を望む声

○直接、会場で授業を見ることができるのが何よりの成果でした。

○リモートではなく、北は北、南は南でも良い気がします。やはり直接見れた方が良いと感じます。

○やはり授業は対面で参観したいと思いました。

○オンラインでの授業参観は子どもの様子が分かりづらいので、できれば公開授業を参観できたらよい。

C 南北開催・オンライン方式への課題意見

○南会場から meet での授業参観は、厳しいと感じました。視聴トラブルやカメラの性能、音声などほぼ授業の様子を理解することができませんでした。今後の継続的な運営が必要な点からも、伝統的な授業公開の魅力も一つではありますが、一斉の講演会又は体験会に置き換えることで、働き方改革及び参加された先生の学びの保証につながると思います。

○Zoom が途中で切れていたのも、もし他に方法があったら変更した方が、と思いました。

○Meet 接続に手間取り、ご迷惑をおかけしました。

○運営等ありがとうございました。人数多数のための南北に分けてオンラインで行っているとは思いますが、やはり見たいところが見れない、音声聞き取りにくいなどの不都合があったかなと思います。また、特別支援学級は人がたくさん来るとのことへの抵抗感がある児童も多いかなと思います。ブロックに分けてそれぞれ研究授業をするか、そもそも研究授業ではなく特別支援教育独自の研究方法（パネルディスカッションや、指導方法、児童の実態交流など）を行っていくのも方法の一つなのかなと思いました。特別支援においては、授業も大切ですがやはり子供の実態把握と適切な指導支援に重きを置いての研修をするというのも一つなのかなと感じました。

○南北開催だと、リモートでつなぐなど、運営者の負担が大きすぎる気がします。どうするのが良いか、すぐに良案はないのですが、何とかなると良いなあと、思います。

○南北で別れるのはやめてはいかがでしょうか。meet の接続等、大変だと感じました。南北が難しいのであれば、他の部会のように小・中で別れると良いと思います。

○北の台小で参加しました。24.5 名の先生方が参観していました。欠席者もいたかもしれませんが、南北に分かれず参観できるのではないかなと思いました。やはり、オンラインで繋ぐのは運営側の負担ですし、画面で見る側はよくわからないですね。

D その他：印刷物・事前資料の改善など

○できれば北広島まで来ないで済むようにしてほしい

○各自で印刷するものが多くないでしょうか？

○指導案の座席にイニシャルか印を付けて、どの子が知的の子かわかるようにした指導案であってほしい。

○オンラインでは直接観察できない場面も多い。授業で使用する教材や教具、掲示物などは、できるだけ指導案に資料として載せてもらえると、事後の話し合いもしやすいかと思います

E 感謝・労いの声

○役員並びに関係者の皆さん、準備などご苦労様でした。オンラインは、動きがある様子を伝えるには視界的、音声的に難しいと感じました。しかし、直接参観することができない状況では最善の方法かなと思います

○良かった・特にありません・お疲れさまでした・ありがとうございました等×7

○様々な悩みを打ち明け、解決へと向かうことができました。

○スムーズな運営だったと思います。

○子どもたちが学習することを参観することができ、充実した研修になりました。

○映像ではなく実際に見ることができ 学びが多かった。今後も 1 年交代を継続してほしい。

○久しぶりに会場校に参加することができましたが、児童の声なども確認することができ、大変よかったです。

3

研究授業の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 授業内容・指導の工夫・題材に関する評価

○討議の柱を意識したよい授業だと思いましたキャリア発達を長期的な視野で目指す意図が感じられる良い授業でした

○子どもを引きつける題材が良かったです。

○お店屋さんのレシート形式が学習するのによかったと思います

○栽培、収穫、調理、販売という単元の流れが素晴らしいと考えた。

○とても参考になる素敵な授業でした。先生方の丁寧な指導が生徒の自信につながっていて勉強になりました。

○素晴らしかったです。意欲のだら活動、コミュニケーションがつく活動、社会生活につながる内容でした

○昨年度の授業とよく似ていた。学級として年間指導計画として取り組んでいることがよくわかる内容だった。

○よく研究していて 指導案作成後も教師による模擬授業を行い 児童の実態 特性を考慮した素晴らしい授業だった。

○丁寧な指導で参考になった（同様×2）

○支援や手立て、教材の工夫などたくさん学ばせていただきました。自分の引き出しの 1 つとして活かしていきたいと思います。授業公開ありがとうございました。

○とても良く準備された、内容の濃い授業を見させていただきました。

○興味深い題材で、生徒が主体的に活動していました。ありがとうございます。

○討議の柱に沿って自立活動として取り上げていたが、単元設定がしっかりなされていたり、算数的な要素が多い印象がありました。

○別室登校の扱いについて参考にしたいなと思うやり方がありました。

○抽象化を題材に子どもたちが生き生きと活動していたのが印象的でした。

○子ども達の未来を見据えて、キャリア教育を通して学ぶ素晴らしい授業を参観することができました。ありがとうございました。

○お祭りの様子が楽しそうでした。うちの学級でもできるかなと想像しながら見させて頂きました。先生方おつかれ様でした。

○自校に持ち帰られる内容だったので、良かったです。

B 児童・生徒の様子、活動の評価

○子ども達が積極的に授業に参加していて、とても良かったです。

○子どもたちが一生懸命学習に参加しているのがわかり、素晴らしいと思いました。授業者や責任者の先生方、お疲れ様でした！

○子どもたちが主体的に学ぶ姿勢が印象的でした。

○様々な児童がいる中で落ち着いた雰囲気でも活動に取り組んでいる様子が印象的でした。今までの学習の積み重ねが垣間見え、児童が個々の役割をしっかりと果たしていると感じました。ありがとうございました。

○普段の指導の積み重ねが伝わりました

○北の台小さんの授業を見させていただきました。先生方のチームワーク、子どもたちの課題に向かって取り組む姿が素晴らしかったです。おつかれさまでした。

○自分たちで考え、生き生きと活動している授業を見せていただきました。自分の実践の参考にさせていただきたいです。ありがとうございました。

○子ども達が生き生きしていて大変良かったです

○子どもたちが、他の学年の仲間と関わり合って学習する様子を見ることができて良かったです。

○これまでの積み重ねが伝わる、素晴らしい授業でした。

○授業公開ありがとうございました。子供たちが生き生きとしていて楽しそうな姿が良かったです。準備等お疲れ様でした。

○とてもよかった×3

C 研究参加・運営への感謝、感想

○良かったです。授業ありがとうございました。

○お疲れ様でした

○役員の先生方、本当にありがとうございました。

○とても明るくて良かったです。お忙しい所、ありがとうございました。

○お忙しい中、授業を見せていただきありがとうございました。学習計画、教材研究の他、準備等に変な労力だったのではないかと思います。本当に素敵な授業をありがとうございました。

○素晴らしかったです。

○先生達の事前の綿密な準備が、当日の余裕を生むのだなとかんじました。

○初めて研究授業を見せていただきましたが、勉強になりました。2年生でしたが、ここまでの経過が資料として欲しかったです。

○参考にさせていただきます。

○通常級から特別支援部会に来て支援級の授業を見させていただき新鮮な気持ちです！

○グループ討議で出しました。お疲れ様でした。

○作業学習についての交流が有意義だった。

○50名程度の先生方に囲まれて授業を受けることのできる生徒にびっくりしました。生の授業をみれるのはいいですね！

○自分の得意なことを自信して、人との関わり方が変わったことを聞き、受け持っている生徒が自信を持ってできることを生かせるようにしてあげたいと思いました。

D 改善点・要望、その他

○授業のビデオカメラでの撮影 児童の手元の活動を映してもらえると よかった。

○オンラインでは直接観察できない場面も多い。授業で使用する教材や教具、掲示物などは、できるだけ指導案に資料として載せてもらえると、事後の話し合いもしやすかったと思います

○知的部門だったので、純粋な知的の児童の授業が見たかった。(情緒の子もいて、あまり知的在籍の子が浮きだってなかったから)

4

事後研についてはいかがでしたか。

⑤ 有意義だった

66% (北のみ 59%)

- ⑥ おおむね有意義だった 32%（北のみ 38%）
- ⑦ あまり有意義ではなかった 1 人
- ⑧ 有意義ではなかった 0 人

5

事後研の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 進行・時間に関する意見

○事後研の時間が長いと思います。

○後半の全体交流に時間がかかっていたので、グループ討議の時間を短くしてはどうでしょうか。

○話し合いの人数が少なく、話しやすい雰囲気が進められたが、グループごとの発表にやや時間がかかってしまったように思う

○グループ討議の時間は 10 分ほど短縮してもよいと感じました。

○グループの意見交流から発表、質問を、全てグループで任されていて、時間が最後足りなくなっていた、せっかく、司会者さんがいたので、まとめて伝えるとか、話し合いのグループの数を少なくしても良かったのかなと思いました

○北会場と南会場それぞれ、3 つのグループが質問などをしてから、授業者の先生が答える、という形だったのですが、たくさんの質問が出たり、同じ質問が出たりと、授業者の先生が大変だったのではないかと感じました。時間の関係もあるとは思いますが、1 つのグループ質問→授業者答えるという形ではどうでしょうか。

○事後研自体はオンラインで進める以上このような形式になることは仕方ないが、質問者の方たちのように、授業者の先生方はタブレットの前で話してほしい。マイクの音が反響してしまい、授業者の先生方の声が聞き取りにくかった。他会場への配慮がほしい。移動、昼食を含めての昼休憩なので、午前の部が終わる時間を厳守してほしい。事務局からの連絡等があるのであれば、事後研は 5 分前に終わるように徹底してほしい。

○当日、司会をお願いしていた先生が体調を崩してしまいました。そういった場合の対応も考えておかなければと感じました。

○研究討議に従って話し合う時間。各校の様子や悩みを交流する時間と 2 段階に分けて話し合いをすると、研究討議の議題について深められるのではと思いました。

B リモート／運営方法に関する意見

○北会場にてリモートでの参加だったのですが、質問や議事録などが可視化していただけるとわかりやすかったです。

○リモートなのでグループ討議の内容は交流せず質問のみの交流で良い気がしました。

○南北をリモートで繋ぐ方法は、係の先生方が大変そうに見えました。

○運営等ありがとうございました。2 の回答と同様に、研修の方法を再構築してもいいのかなと思います。また、そのタイミングなのかなと思いました。意見交換などは良かったです。

○Zoom でうまくつながれていた

C：良かった点（小グループ、交流など）

○小グループにしたことで話し合いしやすく他のグループの話が聞かれてよかった。質問に対しての回答が深く的確でいかに実践を重ねてきたかよく分かった。

○授業だけにとらわれず、多角的な交流ができました。

○小グループで話しやすかったです。

○良かったです。×5

○3 グループに分かれたのは良かった

- グループで討議したことや南北会場による質疑応答はよかった。
- 運営側で7人程度のグループに分けてくれたので話し合いがしやすかった。
- この形が3年目。スムーズに進行されていました。
- 石教研の研修主題との関わりなどについて話し合うことができて良かったです。

6 事後研の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A：改善・工夫に関する意見

- グループ討議するにあたって、良い点、改善点、質問と枠を決めてパターン化するといいいと思います
- 2、5と同様です。担当の先生方ありがとうございました。
- 特別支援教育の授業の振り返りについてですが、やはり普段の実態がわかってこそと思います。授業公開をしてとなるなら、何かもう少しプラスのことがないかなと感じているところではあります。
- 研究授業を受けるにあたって試行錯誤を積み重ねたり、改善されたりして大変ご苦労されたことと思います。一方で、石狩管内で重点的に掲げている『授業改革』を視点としたときに、参加者よりいただいた改善点を参考にしていこう雰囲気もう少しあったらよいのではないかと思います。

B：良かった点・学びに関する意見

- 教師が手厚く出過ぎない支援をしていてすばらしかった。
- 課題解決のための指導や支援のあり方などのことを学ぶことができて良かったです。
- たくさんの先生方と意見交流ができ、自分にはない様々な発想に触れることができました。
- 南会場の先生方の意見も聞けて良かったです。
- 少人数で、いろいろ話せて良かったです。
- 困り感の交流ができてよかった
- 積極的に意見交換できました。
- 中学校は南北に分かれず一ヶ所に集まってできたのがとても良かったです。
- 何もかもが初めてで、とても勉強になりました。
- 授業の意図などがわかり、大変勉強になりました。

7 部門別研修のレポート交流はいかがでしたか。

- | | |
|----------------|-----|
| ① 有意義だった | 65% |
| ② おおむね有意義だった | 34% |
| ③ あまり有意義ではなかった | 2% |
| ④ 有意義ではなかった | |

8 今年度はレポート交流グループは前もってフォルダを設定し、そこにアップロード・ダウンロードまたは印刷というシステムにしました。この方法によって、事務局側の目次を作る作業が無くなり、かつ、膨大なレポートの中から必要なレポートを探す手間が省けたと考えていますが、いかがでしたか。

- | | |
|----------------|-----|
| ① とてもよかった | 59% |
| ② よかった | 37% |
| ③ あまり変化は感じなかった | 2% |

9 部門別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。(レポートシステムを含む)

A 会場環境・人数・運営面に関する意見

○16人のグループが2つも同じ教室に入ると、発表者の声が聞こえないです。グループの人数を少なくすることが必要なと思います。

○教室数的に難しいとは思いますが……同じ教室に2グループ入っていると別のグループの話と混在し、聴き取りにくいところがあります。1グループ1教室だとありがたいと感じました。

○グループごとに教室を分けて欲しかった。となりのグループの音がうるさくて自分のグループの発表が聞こえなかった

○他のグループの討議の音が気になるため、ワーススペース的な場所に移動して討議させてもらいました。可能であれば、会場を分散できるとよいかもしれません。

○人数が多く終わらなかった。

○1つのグループの人数が多く、発表できない先生がいました。

○ひとグループの人数が多く、司会の時間配分がうまく運営できず最初の方のレポートでゆっくり話していたら最後の方の方のレポート交流がほぼできなくなってしまったのが残念です。申し訳なかったです。ただ、教室の数の関係もあると思いますが、交流を充実させるなら、人数をもう少し少なくしていただけると大変ありがたいです。

○準備等ありがとうございました。前回から放送での開始になりましたが、始まるとグループがどこなんだとなくなってしまっているので、奇数グループは窓側、偶数グループは廊下側 など、掲示でも放送でもいいので伝えてもらおうと動きやすなと思いました。

○グループ1,2などに分けているので、予め座席の位置も決めておけばスムーズに交流に入れると考えた。(教室の右半分が1、反対が2など)

○黒板にはやり方が書いてあるけど、全体会の放送で、例えば「では、グループでどなたかが音頭をとって、黒板に書いてあるように進めてください、はい、どうぞ」のように示してほしい。いつもはじまりがもどかしい。

B: レポート・ICT・システムに関する意見

○それぞれが印刷することで運営の手間がかからないのは理解できます。しかしながら、参加者も慣れていない先生方のサポートをしながら、各グループのレポートを印刷するのは大変でした。参加校のwifiを使って教師用pcを接続できると、全員で簡単にレポート交流することができます。

○市町村でOSが異なっていなければ、タブレットで済むのかもしれない。

○ワークスペースに入れませんでした。地区代表の先生からシーフォースで送ってもらいました。入り方を教えてください

○レポートシステムについては、どこからデータをダウンロードすればよいのかわからなかった。私が周知された内容を見落としていただけたと思うのですが…。

○レポートより指導案を印刷してることが一部わかってない人もいたので、こちらも合わせて周知していきたいです。

○レポート提出についてはよかった。目次等も不要。

○レポートは「必要な分を印刷して」というような文言だったので、自分の分をグループ人数分印刷するの
か、同じグループの人のレポートを印刷するのかわかりにくい表現だったので、来年度も同様であれば、わか
りやすい表現に直してほしい。（自分はどちらでも大丈夫なように、両方印刷して持参しました）

○レポート印刷が、とても楽になりました。ありがとうございます！

○8について、反対意見があっても今年的方式でいいと思います。時代の流れに合わせて変わっていきたく
いですね。

○8の通りですが、例の件でスマホ使えなくなった故に、利点が減ってしまった印象があります

C：学び・内容・形式に関する意見

○必要最低限の進め方の指示のみだったので、レポート以外の関心事の交流にも広がった

○人数が少なく、時間があまってしまった。レポートの内容の幅が広く、深く話し合うことが難しかった。レ
ポートを作るのも、何を書いたらいいのか迷ってしまった。

○時間長いなと思いましたが、交流し始めたら、時間を忘れるほどで多くの学びを得られました。

○レポートの内容だけでなく、日常の話題なども話せて良かったです。

○授業は実際に見に行くのが良いと考えますが、レポートや課題別の研修はオンラインでも可能と考えます。

○レポートによる交流だったので、意見の交流がしやすかったです。

○レポート交流ではなく、講演や実技研修の方が良い。

○自主性に任されていたましたが、難しい面もあるのでは？と思いました。

10

部門別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 交流・情報共有が良かったという意見

○先生方と様々な情報共有ができて、良い時間を過ごせました。

○色々な学校の実践を知れてよかった。

○各学校の話が聞けることはやはりいいなと感じました。参考になることや、困っていることなど話しながら
新しい発見ができて良かったです。ただ、新しいことも何かやってもらえたらなと感じています。

○様々な児童の実態や、それに対する取り組みなど、学校によって違う対応を知ることができた。

○小中それぞれの実情がわかって、参考になった

○他校さんとの交流ができて大変勉強になりました。

○小中混じっての交流がとても良かった

○いろいろな実践を聞くことができ、良かった。

○内容は多岐に渡っていましたが、さまざまな実践や課題を知ることができました。

○他校の先生方と今後の支援について意見を交流することができて良かったです。

○現在抱えている問題についてアドバイスをいただきとても参考になりました。

B 運営・形式への提案や改善意見

○レポート交流ではなく、それぞれの市町村で行った公開授業研をビデオで見て意見交流などでもいいのか
な？と思いました。

○参加人数が少なかったのが気になる

○レポートを持ち寄ったが、それとは別の方向に交流が進んだ。

○小学校と中学校を分けて行うのはどうでしょうか。より詳しく実態がわかるかと思いました。

○受付でもらった終わりの時間と「残り 10 分です」という放送の時間が違うので、移動の時間も紙に示してほしい。まだ 10 分あると思って進めていたので最後の方の発表者が尻窄みになってしまった。司会者として申し訳ないことをした。

11

課題別研修はいかがでしたか。

- ① 有意義だった 61%
- ② おおむね有意義だった 38%
- ③ あまり有意義ではなかった 1%
- ④ 有意義ではなかった 0%

12

課題別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

A：運営・準備・進行に関する課題

- 11 人いるはずが、4 人しかいませんでした。出席を午後の前半一回だけにしたせいなのかと思いました。また、もともと 4 人しか出席者がいないと分かっていたのなら、別のグループと合同にできたと思いました。
- 欠席者が多く、グループ討議にならない所もありました。
- 当日始まってみると出席者が少なく、急遽グループを一つにして活動しました。そうすると時間が足りないということもあり、なかなか難しかったです。
- 小人数だったので、たくさん交流できたが、もう少し時間を短縮してもいい
- フリーストークだったので、80分は長かったです。
- 討議の方法のプリントが貼っていない教室があったため、始まりが遅れた。
- 進行の仕方の紙などが初めからなかったため、あればよかったかなと思いました。
- 会場になにも指示などがなく開始の合図だけだったため、進め方など戸惑っている様子が多かったです。
- 黒板に紙が貼ってなくて、北広島先生が取りに行ってくれた。
- 紙に書いてある終了時間と放送された時間が違った。
- 部門別と課題別の時間配分は見直しが必要
- 自主性に任されていたが、難しい面もあるのでは？と思いました。
- なにか話題（テーマ）があったほうが、話しやすいかなと思いました。話題作りに自分のタブレットから写真を紹介している先生がいて、良いアイデアだと思いました。
- カテゴリーの選択が難しいです。

B：交流・情報共有が良かったという意見

- 先生方と、教材・教具の意見交換ができて良かったです。
- 各先生方の交流できてよかった
- 日々の業務の悩みや、教材の工夫、取り組んでいることなど、たくさん教えていただき、多くの学びとなりました。
- レポート交流に比べ、決まった資料がない分、自由で活発な話し合いができたのがとても良かったです。
- 自分の課題に合わせて、色々な情報を得ることができました。
- 色々なアイデアをいただき、参考になりました。
- 良かった。

○教材の工夫グループでしたが、10名で話すのは声も聞き取りにくいとのことで、グループ内で半分に分けて、話し合いをしました。ざっくばらんに話せてとても良かったです。

○進路を希望しましたが、同じ悩みを抱えている先生方と共有できて、本当に勉強になりました。

○スムーズに研修ができました。

C：交流の対象に関する意見・提案

○進路の話だったので、中学校の先生がいてほしかったです。どうなんだろう、聞いてみたい、という声が多かったです。

○オンラインでも可能です。各校で働き方改革のプロジェクトチームなどを作り、考えている最中です。検討して欲しいです。

13

課題別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 交流ができてよかった・学びが多かった

○実践交流ができてよかった。 ○いろいろな工夫を知り学びが多かった。

○自立活動について、様々な視点から交流できよかった

○いろいろな教具やアイデアが出てきて勉強になりました。

○課題別研修で、いろいろな実践について教えてもらえて、とても勉強になりました。他の先生方もみなさん苦勞されているのがわかり、安心しました。

○課題や新しい情報を共有できた ○先生方との話は参考になりました。

○レポートはなく、座談会形式で話が盛り上がりました。

○他の管内や小中高、学校によって異なることがよく分かった。

○ネットの教材など、多くの情報交流を行うことができ、とても有意義な時間でした。

○普段の悩みもふまえ、先生方の工夫を聞くことができてよかった

○教材等の交流ができて大変勉強になりました。 ○他校の現状を知る良い機会になりました。

○他校の先生と実際に教材・教具の共有ができてよかったです。

○現在抱えている問題についてアドバイスをいただきとても参考になりました。

B 運営面・人数に関する意見

○参加人数の少なさが気になった

○スタートの仕切りが誰かが名乗り出ないまで進まないのでは役員さんが1人ついていただけるとスムーズに始まったと思います。

○なかなか難しいと思いますが、話し合いだけより講義など別の形式があると良いかもしれません。

C：テーマ別・内容に関する意見

○保護者対応に参加しました。保護者対応を切り口に愛着障害、福祉との連携などの課題についても討議しました。

14

今年度の二次研究協議会全般に関わって、感想・意見などがありましたらお願いします。(来年度以降の開催方法についてのご意見は、次のセクションでお願いします) <労いの言葉、ありがとうございました>

2. 自閉情緒部門アンケート

1 午前中の研究授業について、いかがでしたか。

- (ア) 有意義だった 59% (北のみ47%)
- (イ) おおむね有意義だった 40% (北のみ51%)
- (ウ) あまり有意義ではなかった 0%
- (エ) 有意義ではなかった 0%

2 研究授業の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

A オンライン（リモート）参観で見えにくい・伝わりにくい点

- ☐ リモートの音声は聞き取りにくさがありました
- ☐ オンラインでの参観だったので全体の雰囲気かわからなかったことが課題。
- ☐ リモートで参観しましたが、子ども達の様子（教師の声かけでどんな活動の様子だったのか等）を見るのができず、残念でした。今のご時世、仕方なかったのかな、とも思いました…。
- ☐ 運営が大変、との話もありましたが、オンラインでの授業参観では見きれないところも多くあるなと感じました。メリットももちろんあるので変えてほしいということではないです。
- ☐ オンラインで授業を見たのですが、こどもの様子や板書があまりわかりやすく写らず、本時の目標が達成できたか確認するのが難しかったです。次年度はどの意図で授業動画を映すか検討していただけると助かります。
- ☐ オンラインだったので、カメラの向きが前で発表している子に向いていると、聞いている子の様子が見えず、2方向で見ることができると良かったなと思います。
- ☐ 子どもたちの様子が見える様に映していただけたらよかったなと思いました。雑音が多かったかなと思います。
- ☐ タブレット画像では見にくいところもありますが、現状では最善の方法かと思います。
- ☐ リモート授業では、伝わりきらない部分もあると感じる。
- ☐ オンラインでよく見えないところがありました
- ☐ カメラのとり方はもう少し工夫してほしい
- ☐ 現地で授業を見られず、画面での参観だと細かい所に気がつきにくいと感じました。
- ☐ リモートの画面では、全体の様子がわかりづらいので、ビデオの録画を見る形で良いのではないかな。昨年度の授業がそうでした。児童への負担も少ない。
- ☐ リモートでの授業参観に関わっては、何か他に方法がないものかと考えてしまいます。

B 運営・システム面への意見／感謝

- ☐ ありがとうございます
- ☐ 運営、ありがとうございます。
- ☐ どの小学校の授業を見たら良いのか分かりにくかった
- ☐ ブロックに分かれて方式も慣れてきました。
- ☐ 人数が多い中の開催大変お疲れさまです。
- ☐ 話し合いスタイルに戸惑いましたが、大人なのでできました。
- ☐ 子どもの近くにマイクがあると、聞こえやすい

- 移動時間がなく、オンラインは良かったです。
- 途中でミートが切れるなど、運営の先生たちが大変そうでした。
- 南会場にいたからかもしれませんが、リモートでも特に問題なくできていたと思います。
- 概ね良いのですが、スマホなどの持ち込みが禁止されている都合で、個人の持ち物を置いておける『控室』があれば助かりました。
- お忙しい中、運営ありがとうございました。×4

C 授業参観の形態への考え（オンライン vs 現地）

- 授業はやはり「ナマ」で見るのが良いですね。
- 生の授業を観ることができて、良かったです。会場校の皆様、役員の方々、本当にありがとうございました。

3

研究授業の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 授業内容・児童の様子への高評価（とても良かった／参考になった）

- 大変勉強になりました
- 継続が大事だなと思いました。勉強になりました。ありがとうございました。
- 双葉小学校の発表良かったです
- 今後の参考にできると思いました。
- 大変すばらしかった。生徒の実態、目標などが非常によく理解でき、それを十分に達成できる内容や指導だった。
- とても素晴らしい授業でした。
- とても貴重な授業をありがとうございました。
- とても良い内容で、勉強になりました。
- 落ち着いていて、ステキでした。
- たいへん参考になる授業、ありがとうございました。
- 各現場のお話は興味深いものが多いです
- 6年生の子たちの活躍が素晴らしかったです。
- タブレットの活用の仕方や段階を経た指導の仕方などが大変参考になりました。
- 自分の課題を意識させ、振り返って自己理解を深める手立てが良いなと思いました。大人になって社会生活を送る上で大切なのは、自分のできることとできないことを理解していることらしいです。
- 継続的な取り組みにより、自己理解、自己有用感など感じられる内容でした。6年生の児童を中心に互いを認め合い、高学年がお手本になるなど、とても温かな雰囲気でした。また、担任の先生のフォローもとても良かったです。ありがとうございました。
- 美術で、自己理解を深め自己有用感を高めるという課題にどのようにアプローチするのかなと思いました。子ども達が自信をもって取り組んでいて、自己肯定感を感じていると思いました。表現の豊かさを感じました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- 前任校の授業だったので、子どもたちの頑張っている姿を見ることができて良かったです。
- 日頃から指導されていることがきちんとできていて素晴らしいと感じました。
- 日常生活指導が生かされていて素晴らしかったです。

- 子どもたちがとても生き生き発表していて良かった！アドバイスの仕方が上手な子もいて、友達に褒められて嬉しそうな子の笑顔が印象的だった。
- 学級の雰囲気づくりが親和的でとても良かったです。普段からの取り組みや積み立てが児童一人一人の力になっていると感じました。自己理解、他者理解、自己肯定感が感じられる素晴らしい授業でした。参考にします。
- シンプルな発問が良かったです。子どもの実態に合わせた ICT 活用も良かったです。
- 素晴らしかったです。富樫先生の姿勢を学びたいと思います。
- これからの授業で、活かせる研究授業でした。
- とても良かったです。
- とても勉強になる良い授業を見させていただきました。ありがとうございました。
- 良い内容でした
- 普段の学級経営がしっかりしていることが伝わる素晴らしい授業でした。自分の学校でも、早速取り入れようと思う内容があり、大変参考になりました。ありがとうございました。
- 児童が立派でした。学年混合で自立活動の授業をしていたのが参考になりました。
- 有益だった
- 倉先生は毎回驚かされる
- 良い手本を見せてもらえました。素晴らしい授業でした。

C 運営・ご配慮への感謝の言葉

- お疲れ様です。
- お忙しい中、授業の準備などありがとうございます
- お忙しい中、授業公開してくださり感謝しかありません。
- よかったです。担当校の負担にならなければよいと思います。
- 授業をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。大変勉強になりました。
- 授業を見ていただき、様々な感想・意見をいただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。

D オンライン参観に関する意見

- オンラインなので十分に授業を見られなかった
- zoom だと子どもの様子が見れなく、難しいですね。写し方に工夫が必要では？
- 特別支援学級では、あれだけたくさんの人に囲まれた状況では、普段の様子にはなり得ないと思う。普段の授業の様子を研究できる方法が良い気がします。

E テーマ設定・次年度への改善提案／特に意見なし

- 難しい状況とは思いますが、自閉情緒（東部）の国語科でしたので、もっと各学年の国語に迫った目標で研究サークルで目標を立てていくように次年度以降確認してはいかがでしょうか。

4 事後研についてはいかがでしたか。

- | | |
|------------------|-----|
| (ア) 有意義だった | 55% |
| (イ) おおむね有意義だった | 43% |
| (ウ) あまり有意義ではなかった | 1% |
| (エ) 有意義ではなかった | 0% |

5

事後研の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

A：運営への感謝・肯定的意見

- ☐ ありがとうございました
- ☐ よい×2
- ☐ よかったです。運営者の負担になればよいと思います。
- ☐ 感謝しかありません。
- ☐ 交流を通して、内容を深めることが出来、有意義な時間でした。
- ☐ お疲れさまでした。
- ☐ 運営者の皆様、大変お疲れ様でした
- ☐ 大人数の参加者の集約、本当にお疲れさまでした。
- ☐ 様々な準備などありがとうございました
- ☐ 機材の準備、掲示物の準備等、事務局の先生お疲れ様です。
- ☐ オンラインでの事後研は昨年より慣れてきたと思います。

B 運営体制・役割に関する意見

- ☐ リモート先での司会と記録は、必要なかったかなと思いました。運営の先生が、グループ分けなどの指示をする程度で大丈夫だったのでは、と思いました。
- ☐ 各教室に進行の方がいてくださるとよりよいです。
- ☐ リモートで機器の操作があるので大変そうでした。
- ☐ 南会場と北会場をリモートで結んでやるのはなかなか大変だなーと感じます。
- ☐ カメラを固定し、話をする人が移動していくのがよいと思います。

C 会場環境・話し合い方法の工夫

- ☐ 小グループで話し合う時間を設けるなど、非常に取り組みやすいシステムだった。
- ☐ 事後研後の話し合いが少人数で話しやすかった。それぞれのグループからの発表時間の目安が有ると良いかと思いました。また、ミニホワイトボードにキーワードを書くなどすると聞きやすいと思いました。
- ☐ 話し合う人数が良い
- ☐ 事後研で、グループでの話し合いは充実していましたが、同じ教室で3グループや授業者運営者が同時に話し合いすると、なかなか声が聞き取りにくくて、もう少し離していただけたらありがたいです。
- ☐ 声が混ざるのでグループごとに教室を分けてほしい
- ☐ 教室の数にもよりますが、1グループ1教室でできたらいいなと思います。
- ☐ グループでの討議はいいと思うが質問がグループ全部聞き終わってからだと大変。

D 時間・内容・導線に関する改善提案

- ☐ もう少し短くして、別のことを話し合いたかった
- ☐ 自分がどこに行くか難しかったです
- ☐ 教室の掲示をもっと大きくしてほしい。

6 事後研の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 内容が深まり、学びがあったという肯定的意見

- ☐ 大変勉強になりました
- ☐ とても有意義な話し合いができた。
- ☐ 授業者の意図や思いが良く理解できる研究協議がなされていて非常に良かった。
- ☐ 様々な情報が勉強になりました。ありがとうございました。
- ☐ いろいろと参考になる話が聞けてよかったです。
- ☐ 授業を見せていただいてありがたかったです
- ☐ たくさんの人の意見が聞けて視野が広がりました。
- ☐ 充実した研究討議ができた。
- ☐ 勉強になりました。
- ☐ よい
- ☐ 適切でした

B 交流が良かったという意見

- ☐ 質問についても、zoom でちゃんとやり取りができ、授業者の先生にお話が聞くことができ、よかったです。
- ☐ 皆さんひと言ずつでも話しができましたので良かったです。
- ☐ 授業者の先生が、話し合いのグループに入ってくくださったので、より理解が深まりました。
- ☐ 皆さんの意見が聞けて良かったです。

C 授業者に関する驚き・評価

- ☐ 授業を行った先生が、美術専門かと思っていたら、違っていたので驚き、そして知識の豊富さがすごいなと感じた。

7 部門別研修のレポート交流はいかがでしたか。

- | | |
|----------------|-----|
| ⑤ 有意義だった | 53% |
| ⑥ おおむね有意義だった | 44% |
| ⑦ あまり有意義ではなかった | 1% |
| ⑧ 有意義ではなかった | 1% |

8 今年度はレポート交流グループは前もってフォルダを設定し、そこにアップロード・ダウンロードまたは印刷というシステムにしました。この方法によって、事務局側の目次を作る作業が無くなり、かつ、膨大なレポートの中から必要なレポートを探す手間が省けたと考えていますが、いかがでしたか。

- | | |
|---------------|-----|
| ①とてもよかった | 49% |
| ②よかった | 47% |
| ③あまり変化は感じなかった | 2% |
| ④使いにくいので改善が必要 | 1% |

9 部門別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。(レポートシステムを含む)

A： 運営・進行に関する意見

- 連絡はドライブなのか C4th なのか
- こちらが気付いていないことで、業務削減ができそうなことがあればどんどん言ってほしいです。運営が苦しいことは持続可能ではないと思います。
- レポート交流では放送で開始があっただけで、始まりがわかりにくく、司会などが設定されてないので進めるのが困った。
- 渡された要項と放送の時間にズレがあり、司会の方が時間配分されていましたが、少し足りなくなっていました。
- 運営の方がいなくて、進行に戸惑いました。
- いつ始めたらいいのか待っていました。自分達ではじめることを伝えてもらえるとよかったと思います。
- 司会者は、どこそこの地域からお願いします…など、少し有る方がやりやすかったと思った。
- 各部屋に名簿が置かれた状態で説明がなかったことから、時間的ロスが生じていました。板書で説明などあれば良かったと考えます
- 「進行役」がいらないことを事前に知らせて頂ければ、少し安心しました。

B 人数・環境・時間に関する意見

- 1 グループが多くて、レポートを聞くだけで終わってしまった
- 一教室に二グループで討議では声が混ざってしまうのではないかな。
- 交流時間が足りませんでした。人数を少なくするか、時間を増やすかなどすれば良いと感じました。
- 時間が足りなかった。グループの人数をさらに半分に割れば良かった。

C ICT・資料提供についての意見

- 部会員の多さを考えると事前の名簿は良かった
- gmail が全然設定されず、同じ学校の先生に印刷してもらった
- レポート交流は zoom でもできるので、オンライン開催を希望
- ワークスペースの利用はとてもよかったと思います
- グループごとに分けられていたので、探すのは楽でした。一気に印刷、ダウンロードできるとなお楽になるかも。
- 便利になりましたが、事務局は大変な作業を裏でやっていると思います。頭が下がります。何かもっと事務局の負担を少なくする方法がとれると良いのですが…。
- グーグルフォームになかなか登録できず、同僚に全て印刷を依頼しました。その点ではやや不便でした。
- 目次はなくても名簿があるので大丈夫だと思います。昨年度推進委員で少し関わりましたが、事務局の作業やレポートの締め切りに余裕が生まれるなどのメリットがあると思います。
- もう少し早くに名簿やレポートが届くといいと思いました。

A 学び・参考になった（満足の声）

- ☐ 大変勉強になりました
- ☐ 他の学校のことも知れて良かったです。
- ☐ 参考になりました。
- ☐ 色々な学校の取り組みが聞けて参考になり良かったです。
- ☐ 参考になるものばかりでした。
- ☐ 参考になることが多く楽しかったです
- ☐ 各校の様子が知れて良かったです。
- ☐ ベテランの先生からアドバイスをいただけて、大変参考になりました。
- ☐ さまざまな学校の様子や困っている事を共有できて良かったです。
- ☐ 色々な話が聞けて良かったです。
- ☐ 他市や異校種の交流ができたことで視野が広がりました。
- ☐ 勉強になりました。
- ☐ 課題に思っていることのヒントがたくさんあってとても良かった。
- ☐ 場面緘黙や愛着障がい等、幅広い児童の特性に触れ、経験や対応の仕方について考えさせられました。

B 時間・人数などの改善希望

- ☐ レポート交流からもう少し話し合う時間があっても良かったです。
- ☐ グループの人数は少ないほうがよいと思います。
- ☐ 実践が聞けて良かったです。もっと小さいグループでゆっくり話せるといいと思いました。

C レポートに関する意見

- ☐ 部門別研修のレポートはなくてもよいと思った。レポートなしでも研修テーマについてざくばらんに話ができると思う。
- ☐ レポートの内容の他、現在抱えてる悩みを聞いてもらえる良い時間となりました。
- ☐ レポート未提出の方がいたのが残念でした
- ☐ 他校の実践が聞けて良かったです。もっと小さいグループでゆっくり話せるといいと思いました。

D 肯定・特に問題なし等×10

- | | |
|----------------|-----|
| ⑤ 有意義だった | 60% |
| ⑥ おおむね有意義だった | 34% |
| ⑦ あまり有意義ではなかった | 5% |
| ⑧ 有意義ではなかった | 1% |

12

課題別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 研修内容や交流に満足した意見

- ☐ ありがとうございました
- ☐ 色々な相談が気軽にできて良かった。
- ☐ レポートなどはなかったですが、お互いの学校の様子を交流ができたり、悩みを相談できたりできてとても良かったです。
- ☐ よい。×5
- ☐ たくさん話せてとても良かったです。

B 運営・テーマ設定・進行に関する改善意見

- ☐ 課題別研修にしないで、レポート交流での話し合い時間を長く取ってほしいです。
- ☐ フリートーク 1 時間半は長い
- ☐ 何か資料などがあるとありがたい。
- ☐ 特に指定されたテーマもなく、1 時間半グループで話すのは大変だった。テーマが提示されているとよかった。進路だけでは大きすぎた。
- ☐ 話し合いの終了が 4 時 10 分までとなってましたが、放送では 4 時 20 分となり、全体的に今回の研修は時間のズレがあったように感じました。
- ☐ 通級指導のグループがあると良い
- ☐ 実際にタブレットや教材を持って参加すればよかったと反省しています。
- ☐ レポートなどがないのはよかったと思いますが、何を話していいのか迷いました。
- ☐ 教室ごとに研修を進める方がいたらやりやすかったです。
- ☐ 運営の日程が貼り出されていなく、少々困った。
- ☐ 司会進行は先に振られておいたほうが良いように思います 皆やりたがらないため
- ☐ 何を話していいのか、なんの時間なのかが分かりませんでした。
- ☐ 小学、中学で分けても良いと感じました。
- ☐ レポートを用意するとか、とりあえず指示はあったと思うが、用意していない人が大半だったので口頭説明が多かった。
- ☐ こちらもですが、「進行役」がいらないことを事前に知らせて頂ければ、少し安心しました。

C 研修形態・運営方法に関する気付き・混乱

- ☐ 自分がどのグループに所属しているのか見失ってしまい、やや混乱しました。
- ☐ もともとのグループをさらに半分にわけて、話し合いました。たくさん話せてとても良かったです。

D 特に意見なし×7

13

課題別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

A 交流・情報共有ができて良かった（満足意見）

- ☐ 様々な教材を教えていただけて参考になった
- ☐ 記録や発表がなくて話やすかった
- ☐ 他の学校の実践が知れて良かったです

- とても活発な情報交換ができました。学習に使えるテキストを教えてもらえたのもありがたかったです
- 少人数で和気藹々とお話できて、いろんな情報も聞けてとても良かったです！
- 各地区の状況を知れて良かった。
- よい（同様×4）
- いろいろ聞けて良かった（同様×6）
- 具体物の紹介は良かったです
- 皆さん、同じような思いをもっていることがわかりました。疑問に思っていたこともアドバイスを受けられ、良かったです。
- 各学校の状況や抱えている悩みなどを同うことができて、有意義でした。
- 皆さんの持ち寄ったネタが参考になりそうです。
- 教具を実際見せてもらい、大変参考になりました。
- テーマに基づいて、グループの中でいろいろな話ができただけになった。日常のなやみや、各校の実情など交流ができいい時間だった。
- 交流および共同学習について、それぞれの学校の取り組みを知ることが出来ました。今日は、視覚障がいの子を普通学校で対応する点訳者の方の貴重なお話を聞くことが出来ました。このような機会はないため、ありがたかったです。
- 他市や異校種の交流ができたことで視野が広がりました。
- 知らなかった教材や教具についての情報をいただき、大変参考になりました。
- 各先生方、日々色々悩まれてることがわかりました。
- 生々しい情報を聞いた

B 校種間連携への期待や改善要望（中学校からの情報が欲しい等）

- 児童生徒の進路グループでしたが、小学校の先生だけで話をしたので、中学校の話も聞きたいと強く感じました。小学校だけだとわからないことが多いので、この機会に色々な情報を共有できたら、有意義だと思いました。
- 進路についてでしたが、中学校の意見を聞きたかった
- 進路での課題グループでしたが、中学校の先生との情報共有したいという意見が多くだったので、次回はしたいです。

C 運営や進行・テーマ設定に関する課題指摘

- 事例紹介程度になってしまう
- ただ話すだけの研修だと着地点が見つからないと思いました。目的が必要かと思います。
- 私は特性のある児童の支援や指導の研修だったのですが、話し合いのテーマがざっくりしすぎていて、逆に困った感じがしました。1人ひとり悩みを話して、「難しいよね～」と共感する感じで終わったので、もう少しテーマをしぼって話すか、課題別研修の時間はどなたか講師を呼んでお話ししてもらうことができたらよかったなと思います。
- レポート交流と、課題別研修はフリートークでかなり長過ぎると感じました。
課題別研修は校種は分けたほうが話しやすいかもしれないと感じました。
- 司会が決まらないまま場当たりの始まり、終わりました。まとめなどは当然ありません。残念ですが、事前に打診するなどして新しい会員に事務局から割り当てしていくのが良いのではないのでしょうか
- 交流のたたき台がないので、話が深まったか微妙でした。
- 教材教具の工夫でしたが、持ち寄り等難しく、それならば研修方式のほうが有意義だと思う

14

今年度の二次研究協議会全般に関わって、感想・意見などがありましたらお願いします。(来年度以降の開催方法についてのご意見は、次のセクションでお願いします)

A 運営への感謝・労いの声

- ☐ お忙しい中色々なご準備ありがとうございました。(同様×7)
- ☐ 会員数が増えて、運営も大変かと思います。運営に関わった先生、お疲れ様でした。半日開催でもいいんじゃないですか
- ☐ 運営をしてくださった事務局の方々、ありがとうございました。
- ☐ 役員の先生方、本当にお疲れ様でした。
- ☐ ご多忙の中、準備運営ありがとうございました。
- ☐ 通常業務を当たり前になしながら、研修を動かしてくださった先生方に感謝しております。本日は体調不良(咳)でご迷惑をおかけしました。司会や発表を進めてくださった方にも感謝しております。
- ☐ お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ☐ なし。お忙しい中準備していただきお疲れ様でした。
- ☐ 運営の方々、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

B 研修内容・交流についての肯定的意見

- ☐ 南ブロックは、実際に授業が見られたのが良かったです。
- ☐ よかったです。勉強になりました。
- ☐ 授業やレポート討議などたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。
- ☐ 色々勉強になりました。
- ☐ 自由な雰囲気の中、意見交流ができ、良かったです。

C 運営改善・進行方法に関する意見

- ☐ 小学校と中学校と一緒に交流出来るのが理想だが、人数的な関係で無理がきている。事務局を小学校と中学校分けて作るなど必要かと思うが、役員のやり手がない中で、難しいとおもいますが。
- ☐ グループでの話し合いの時に、なかなか司会が決まらなくて気まずいなぁと感じています。
- ☐ 仕切る人が教室にいなかったのので、放送で細かく指示していただいたら、時間のロスは少なかったかもしれません。
- ☐ 少し話し合いが多すぎます。一回一回司会や発表する人を決めるなど負担が多いです。もっと内容に工夫してほしいです。
- ☐ 準備などさまざまなことが大変だと思いますが、この形で良いと思います。

D 会場・環境・オンライン関連の課題指摘

- ☐ オンラインでの授業参観だとなかなか子どもの様子が見えにくいところが気になりました。
- ☐ zoom 等を活用したオンライン開催で全てをお願いします
- ☐ 昼の移動を含めた時間が短い
- ☐ 移動に距離がある場合、十分な時間は確保が必要。交通事故等の未然防止のために。
- ☐ いろいろなことがわかりづらかったです

4. 言語部会員アンケート

1. 午前中の部門全大会・部門研修について、いかがでしたか。

- ① 有意義だった 91%
- ② おおむね有意義だった 9% (1人)
- ③ あまり有意義ではなかった 0
- ④ 有意義ではなかった 0

2. 部門全大会・部門研修の運営やシステムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

- ☐ 有意義な研修でした。事前の準備等、本当にありがとうございました
- ☐ 部員数が多くて運営は大変だと思いますが、よかったです。
- ☐ 今回はじめて言語部門に参加した。レポートに縛られないプログラム展開は斬新でとてもよかった。
- ☐ スムーズでした。

3. 部門全大会・部門研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

- ☐ 全体会で各部門の取り組みが分かり、言語部門研修は充実していました。

4. 部門別研修のグループ研修はいかがでしたか。

- ① 有意義だった 91%
- ② おおむね有意義だった 9% (1人)
- ③ あまり有意義ではなかった 0
- ④ 有意義ではなかった 0

5. 部門別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

- ☐ 広さも機材も良かったです。
- ☐ 今回はじめて言語部門に参加した。レポートに縛られない
- ☐ スムーズでした

6. 部門別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

7. 課題別研修はいかがでしたか。

- ① 有意義だった 91%
- ② おおむね有意義だった 9% (1人)
- ③ あまり有意義ではなかった 0
- ④ 有意義ではなかった 0

8. 課題別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

- ☐ 良かったです。
- ☐ ありません

9. 課題別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

- 部会途中や、最後のアナウンスなど丁寧にいただきましたが、その時に運営している者がわかっていると思います 放送でのアナウンスは無しにいただき、ある程度、終わりの時間だけ各部門に任せてはいかがでしょうか(早く終わるのは論外ですが)

講師の先生の話が伸びて、代表からの挨拶をしている最中だったので、そういう部門も多かったかなと思います。

- ただ、話を聞くだけではなく、実技等を含めたわかりやすく、楽しい研修でした。
- 作業療法士の視点からの内容で勉強になりました。
- 感覚統合について学ぶ機会をもらい有意義であった。
- 専門職からの視点、アプローチについてとても興味深く聞かせていただきました。今後の支援に役立てられる様にしたいです。

10. 今年度の二次研究協議会全般に関わって、感想・意見などがありましたらお願いします。(来年度以降の開催方法についてのご意見は、次のセクションでお願いします)

- いつも役員の皆さんがご尽力くださり、有意義な研修となっています 本当にありがとうございます。自分も障教部の役員を経験しているので、大変さがわかりますが、何もせずに文句を言うような方々も一部いて、そういう方にぜひ運営をお願いしたいです
- 事前連絡等も丁寧にされていて、分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 初めて参加した部会でしたので、あまりわかりませんが、この研修は、1日ではなく午前中のみでもいいと思っています。授業を公開することもあるのかもしれませんが、長期休業中にできることと、平日にしかできないことに分けていいのではないのでしょうか。それに関わる会議や打ち合わせもリモートを活用できるところは活用してもいいと思います。全体に関わっている方たちに感謝します。

5. 肢体部会員アンケート

1. 午前中の講演会・体験会について、いかがでしたか。

- ① 有意義だった 92%
- ② おおむね有意義だった 8%（1人）
- ③ あまり有意義ではなかった 0
- ④ 有意義ではなかった 0

2. 講演会・体験会の運営やシステムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

- ☐ 講演に加えて体験活動もあって、大変勉強になりました。
- ☐ よい

3. 講演会・体験会の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

◆講演内容・メッセージが心に残った意見

- ☐ パラリンピックを目指す人、また、障害を抱えた人だけれど、違いを前提に考えることで障害を乗り越えられることが心に響いた。競技用車椅子の操作の難しさ、利便性がよく、実際に子どもにやらせてみたいと思った。
- ☐ 障害者スポーツの講義と体験は、とても有意義でした。特に齊藤さんの講義は、障害、という括りへの考え方についてあらためて考えさせられるものでした。
- ☐ 講演の内容がよかった。講師の方のはなしが、わかりやすく、スライドの写真が多くてイメージしやすかった
- ☐ 障がいの有無に関わらずスポーツが出来るようにと動かれている方の話を聞いて、自分も出来ることからでも始めていきたいと思いました。

◆車いすバスケ体験が良かった意見

- ☐ 講演会の話、車椅子バスケの体験がとても有意義だった。
- ☐ 大変興味深い内容で、実際にやってみた車いすバスケも楽しかったです。学校でもやってみたいなーと思いました。計画してくださった岡崎先生、本当に頭が下がります。
- ☐ 体験できるものがあり、有意義な時間でした。

◆研修全体への満足の意見

- ☐ とても楽しく活動できました。ありがとうございます。
- ☐ とても勉強になりました。機会があれば職場や保護者にも紹介しようと思います。

4. 部門別研修のレポート交流はいかがでしたか。

- ① 有意義だった 92%
- ② おおむね有意義だった 8%（1人）
- ③ あまり有意義ではなかった 0
- ④ 有意義ではなかった 0

5. 部門別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

- ☐ よい

6. 部門別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

- 特別支援経験がなかったので、様々な学校の実態や実践を聞くことができ、勉強になりました。
- 他の学校の事や実践がしれてためになりました。
- 小中違う分野の交流ができ、視野が広がった。
- 様々なワードが出てきて、それらについて語ることで次の学習への支援の幅が増えると考えた。
- よい

7. 課題別研修はいかがでしたか。

- ① 有意義だった 92%
- ② おおむね有意義だった 8% (1人)
- ③ あまり有意義ではなかった 0
- ④ 有意義ではなかった 0

8. 課題別研修の運営・システムなどについての感想・意見などがありましたらお願いします。

- よい

9. 課題別研修の内容についての感想・意見などがありましたらお願いします。

- 様々な話ができてよかった。
- 様々な問題に対して少数で考えて有意義でした。
- 肢体不自由に関して情報を得られる貴重な場です。今年も有益な情報を得ることができました
- 一緒のグループの方に話を聞いていただき、なかなか学校で相談しにくいこともアドバイスをいただけてありがたかったです。

10. 今年度の二次研究協議会全般に関わって、感想・意見などがありましたらお願いします。(来年度以降の開催方法についてのご意見は、次のセクションでお願いします)

- 準備等ありがとうございました。有意義な時間を過ごせました。
- 肢体不自由部門に初めて参加させていただきましたが、各校の取り組みを聞けて良かったです。
- 肢体不自由部門と言語部門会場のお知らせの書き方を改善して欲しい。北ブロックの人が困っていました。

6. 研究・難聴について

1 共通研究について

今年度の共通研究は、理論研修会「子どもの将来のために知っておくべきこと」実技研修会「田中ビネー知能検査Ⅴの使い方、結果の考察について」言語理論研修会「読み書き障害について～最新の研究から～」を行いました。来年度の研修会について、講師の希望や取り上げてほしいテーマがありましたら、お書きください。
※wiscⅤについての研修について多数希望する意見をいただいておりますが、検査の取り扱い上研修会を開催するのは難しいです。その他の希望をお願いします。

【Ⅰ. 自立活動・特別支援に関する研修希望】

- ビジョントレーニングについて知りたいです。特に自立活動の学習内容で何をすれば良いか難しいと感じるので、自立の学習で使える内容の研修を希望します。
- 応用行動分析学
- 愛着障害の対応
- HSP・HSC についての理解を深める
- 起立性調節障害

【Ⅱ. 検査・評価・発達理解に関する研修希望】

- 田中ビネーⅥの研修
- 検査についての研修をお願いしたい
- WISC やビネーなどの発達検査については、検査器具を拝借したりするのは担当の負担も大きいので、解釈や指導への生かし方などの観点で実施するとよいと思います。

【Ⅲ. 専門家・講師に関する希望】

- スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの講話
- 田中康雄先生の講演を聞いてみたいです。
- 作業療法士さんのおはなしを通級研修で聞いて参考になることが多かったのでぜひ支援でもやってほしいです。
- (株) RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS 代表 小嶋悠紀氏(山田注：長野の方です)

【Ⅳ. 進路・就労・支援体制に関する内容】

- 就労に関わる何か
- 自閉情緒学級の生徒の進路について。
- 普通高校や通信制、定時制などの進学の実態と卒後支援、就職の実態。
- しょうがい当事者による話を聞きたい。インクルーシブ教育とはなにか。子どものためというが、大人になったしょうがい者はどう思っていたのかを知りたい。
- 医療や福祉との連携、看護師などの他職種との連携、愛着障害、地域資源の活用、進路選択に向けてなどが今回キーワードであがっていたと思います。

【V. 読み書き・発達・幼児支援に関する研修希望】

- ☐ 読み書き障がいについて
- ☐ 今年度は主に読みについての話だったので、書きに重点をおいた研修会
- ☐ 幼児の発達

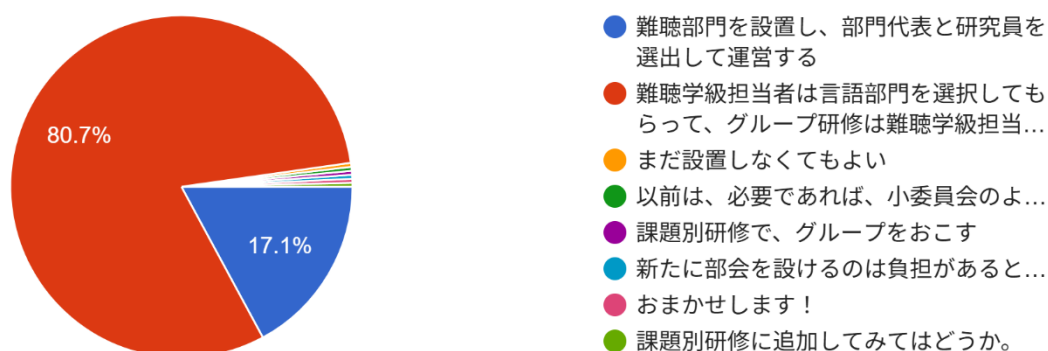
【VI. 学校・運営・研修方法に関する意見】

- ☐ 参加出来なかった方もいるので、もう一度同じもの
- ☐ 学校ごとがよい。
- ☐ 身近な困り事を抱えている先生がたくさんいるので、先生方で小グループになって話合うことは、とても有効でしたが、可能ならそこにアドバイザーがいるとありがたいなと思います。そんな研修会が有るといいなと思います。
- ☐ 学級編制のあり方について

【VII. 特に意見なし・未記入・一任】×9

2 この数年、難聴学級が増えてきています。人数は少ないけれど交流場面が欲しいという要望がありました。どのようにしたらいいかご意見を下さい。

- ①難聴部門を設置し、部門代表と研究員を選出して運営する
- ②難聴学級担当者は言語部門を選択してもらって、グループ研修は難聴学級担当者で行う



その他

- ☐ おまかせします！
- ☐ 課題別研修に追加してみてもどうか。
- ☐ 課題別研修で、グループをおこす
- ☐ まだ設置しなくてもよい
- ☐ 以前は、必要であれば、小委員会のような形で、研修を行っても良いという感じだったと思いますが。
- ☐ 新たに部会を設けるのは負担があると感じます。課題部会などにコミュニケーション課題に関するグループを置くのもよいかと思います。

事務局見解

来年度から難聴学級担当者は言語部門を選択してもらって、グループ研修は難聴学級担当者で行うことにしたい。